

対象年度	令和 3年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート								
事務事業名	市単農道整備事業						予算事業名	農道整備事業費		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			06	01	08	2001	経常経費			
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業) 3-1元気あふれる農業の振興(農業) ③農村環境の保全 3農業生産基盤の整備						事業の区分	主要事業		
							担当課係等	農政課	農政係	
事業期間	継続 (年度～ 年度)									
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】 舗装整備を行うことで荷傷みを軽減し、農産物の品質低下を防ぐとともに、農村地域における生活環境の改善を図る。						【事業開始のきっかけや他市の状況など】 農業生産基盤施設としての農道の整備を行い、農村地域の生活環境の改善を図るため。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】 未舗装道路を舗装整備する。						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】 畠地や水田地帯の未舗装の市道 農道周辺の農業従事者 【事業をとりまく環境の変化】 舗装整備に関する要望は例年増加傾向にあり、対応しきれていない状況にあるが、緊急性や利便性を精査し、年次計画において対応している。				
【令和 3年度 事業内容】 調査・境界確認・設計・整備			【令和 4年度 事業内容】 調査・境界確認・設計・整備			【令和 5年度 事業内容】 調査・境界確認・設計・整備				
■事業費										
財 源 内 訳	R01年度		R02年度							
	国	庫	支	出	金	0	0			
	県	支	出	金	0	0				
	地	方	債		0	0				
	そ	の	他		0	0				
	一	般	財	源	41,083	19,662				
	歳	入	計	(千 円)	41,083	19,662				
	節	(番号 + 名称)	金額	(千円)	金額	(千円)				
	12	委託料		739		0				
	14	工事請負費		40,344		19,662				
歳	出	内	訳							
歳	出	計	(千 円) (A)	41,083	19,662					
伸	び	率	(%)		-52.14					
備	総合計画97ページ 予算書124ページ									
考										

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位	R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	舗装箇所	箇所	目標 5.00	3.00	4.00
			実績 5.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00
成果指標	舗装延長	m	目標 1,400.00	450.00	500.00
			実績 1,402.50	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	農道を舗装整備することにより、出荷物の荷痛みが防止され、生産性が高まるとともに、農村地域の生活環境の向上が図られる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	当事業は公共道路である農村地域の市道の舗装整備であることから、市の事業として実施する必要がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	整備する農道の状況に応じて、測量や設計業務を直営で行うか委託するかを適宜判断するとともに、道路の舗装整備に際しては、国が定めた基準に準じて実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	現場測量や工事設計及び積算は、基本的には職員が行うことによって、コストの削減を図っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	道路は公共施設であるため、市民の誰もが利用できるものである。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年、4～5路線の舗装整備を実施しており、整備された路線や路線延長は増加している。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	年次計画により舗装整備を行っているが、地元からの要望件数が多く、全てに対応するとか困難であるため、要望されているが未整備の路線も多く残されている。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

農道整備は計画的に行っており、その成果は順調に上がっている。また、舗装整備された農道は、道路としての利便性が向上するため、農耕車だけでなく一般車両の利用も増加している。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

農道整備は、早期に多くの地元要望に対応できるよう、今後も、年次計画によって実施していく。なお、農道の一般車両の通行増加によって、農耕車の往来や農作業に支障が生じないような方法等も、検討していかなければならない。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的な内容

地元から農道整備の要望が上がっているが、未整備の路線が多く残されているため、予算を拡充しながら、計画的に進めていく。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革ながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。